

会議記録

名 称	中央区スポーツ推進審議会	
開催年月日・場所	令和8年5月18日（月曜日） 午前10時00分から午前11時00分まで 中央区役所本庁 8階 第5会議室	
出席者の氏名	委 員	(出席委員) 近藤 智靖（会長）、坂なつこ（副会長）、ヨーコ ゼッターランド、深川 史麻、山主 英樹、木本 慎一、森田 俊秀、濱田 徹、北澤 千恵子、平松 功治、浮津 健史
	区側出席者	平岡スポーツ課長、高橋スポーツ施設係長、小貫スポーツ事業係長、日下スポーツ施設整備担当係長、菊池主事
	委託会社	株式会社サーベイリサーチセンター 水谷氏、宮口氏
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度第1回中央区スポーツ推進審議会次第 2 議題資料 中央区スポーツ協会に対する補助金関係資料 「区民スポーツの日」実行委員会に対する補助金関係資料 「スポーツ推進ビジョン」の改定関係資料 	
議事の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 (1) 諮問事項審議 ア 中央区スポーツ協会に対する補助金交付の可否について イ 「区民スポーツの日」実行委員会に対する補助金交付の可否について ウ 「中央区スポーツ推進ビジョン」の改定について (2) その他 3 閉会 	
審議の経過	別紙のとおり	

令和8年度第1回スポーツ推進審議会会議録

令和8年5月18日
午前10時00分～午前11時00分
中央区役所8階第5会議室

1 開 会

- 近藤会長の開会宣言により開会
- 会長が、委員の定足数を充たし、本日の会議が有効に成立していることを報告
- 会長が、中央区長からのスポーツ基本法第35条及び中央区スポーツ推進審議会条例第2条第8号の規定に基づいた諮問事項が3件あることを報告
- 会長が、審議は諮問事項を1件ずつ審議決定していく方法で進めると説明

2 諮問第2号の審議

- 会長が、諮問第2号の中央区スポーツ協会に対する補助金交付の可否について審議するに当たり、事務局からの説明を指示
- 事務局（スポーツ課長）が、「中央区スポーツ協会の令和7年度事業実績報告」及び「令和8年度事業計画、収入支出予算等」について説明
- 令和8年度中央区スポーツ協会の事業運営費分についての補助金交付の可否について審議
(交付の可否について)
 - ・ 補助金交付に異議なし（承認）
- 採決を行い、委員全員の賛成により、中央区スポーツ協会に補助金を交付することを適当と認める旨答申することを決定

3 諮問第3号の審議

- 会長が、諮問第3号の「区民スポーツの日」実行委員会に対する補助金交付の可否について審議するに当たり、事務局からの説明を指示
- 事務局（スポーツ課長）が、『第37回「区民スポーツの日」事業実績報告書、収入支出決算書』及び『第38回「区民スポーツの日」事業実施計画書、収入支出予算等』について説明
- 第38回「区民スポーツの日」実行委員会に対する補助金交付の可否について審議
(交付の可否について)
 - ・ 補助金交付に異議なし（承認）
- 採決を行い、委員全員の賛成により、「区民スポーツの日」実行委員会に補助金を交付することを適当と認める旨答申することを決定

4 答申文案について

- 諮問第2号及び第3号についての答申文案について、会長に一任
- 会長から事務局に答申文案の作成依頼があったので、事務局が答申文案を作成

5 答申文の決定

- 会長からの指示により、答申文案を委員に配付
- 答申文を決定

6 諮問第4号の審議

- 会長が、諮問第4号の「中央区スポーツ推進ビジョン」の改定について審議するにあたり、事務局からの説明を指示
- 事務局（スポーツ課長）が、『中央区スポーツ推進ビジョンの改定にあたって』、『中央区スポーツ推進ビジョン 体系新旧対照表』、『次期ビジョンにおける数値目標について』及び『中央区スポーツ推進ビジョン改定スケジュール』について説明
- 委員からの意見・質問
 - ・ ウェルビーイングを数値として可視化することは考えているのか。
 - ➡ スポーツを通じた幸福感は指標として立てる必要があると考えている。定期的な調査で区民のニーズを把握し、スポーツに参画することで区民自身に幸福感の高まりを感じてもらえるよう取り組みたい。区としてもその満足度を次年度以降のスポーツ事業の実施につなげられるように、持続する形で取り組んでいきたい。（スポーツ課長）
 - ・ スポーツ指導者の育成、資質向上は非常に重要な課題である。指導者のコンプライアンス意識の向上が見られ、経験に基づいた指導からの脱却を目指し勉強している。指導者資格取得の支援が進められる中、資格取得後、研修後の実践の場が重要となっている。学んだものと現場の違いを体感するために、実践できる機会を用意してほしい。現場に入ってから指導者をサポートすることも重要で、指導者育成を推進する上でもう一步踏み込んだ文言を加えてもらえると嬉しい。
 - ➡ 区では指導者の養成セミナーを開催しているが、指導者にスポーツに関する安全・安心の重要性をより理解してもらえるような仕組みを行政として作っていきたい。また、担い手へのフィードバックの場も必要と感じており、区としてセミナー以外に適切な情報提供やフィードバックができるようにしたい。（スポーツ課長）
 - ・ 地域スポーツクラブとの連携協働、部活動への支援について、具体的に何か進めているのか。
 - ➡ 地域スポーツクラブは現在地域との協働、意思疎通を深めており、区にもフィードバックをしていただいている。今後も相互に情報提供を行い、地域スポーツクラブには地域の担い手として、より活動を広げていただくことで地域の活性化につなげていきたい。地域スポーツクラブの部活動への支援については、教育委員会での検討の動きも見据えて、考えていきたい。（スポーツ課長）
 - ➡ 部活動の地域連携について、内部検討会は進めている。中学校の部活動は学校、先生によって考え方が異なるため、中学校の実態把握を行う方向で調整をしている。内部調整後に地域スポーツクラブにも会議に参加していただき、検討していきたい。（教育次長）
 - ・ 中央区の場合は前向きだが、他区市町村では温度感がみられる。現状、部活動の指導者は現役世代が多いが、部活動との地域連携は就業中の現役世代に替わってシニア層が中心となること等に課題を感じている。区には、部活動の支援だけではなく

積極的に地域スポーツクラブへの支援を推進していただきたい。

- ・ 今後、熱中症対策が必要不可欠であり、真剣に考えていかなければならないため、この機会にこの場で意見を出し合えたら嬉しい。水辺環境について、他区では中学校の部活動でボートを取り入れたり、施設面も区が中心となって作っていたりするところが多いので、そうした状況も踏まえて考えていく必要がある。

➡ 区のスポーツ事業では、熱中症対策を指導者側にもかなりご留意いただいている。こまめな水分補給の啓発、小休止の導入をしており、今後も基本を踏まえて事業を実施していく。また、東京都スポーツ協会の補助金で暑さ対策金の助成実績もあり、屋外事業では支援を受けられたので、それらを活かしながらスポーツを安全に実施できるよう暑さ対策を万全にしたい。スポーツ活動を行う人が事故なく活動できるように、担い手から地域の実情をうかがい、できるところから対応していく。(スポーツ課長)

○ 「中央区スポーツ推進ビジョン」の改定は今年度を通して引き続き審議する予定である旨説明

○ 会長から最後に事務局からの連絡事項がないか確認

○ 審議会は、例年だと年に2回開催しているが、今年度は「中央区スポーツ推進ビジョンの改定について」の審議のため、4回開催する予定であり、第2回審議会は7月中旬に開催を検討している旨説明

7 閉 会

○ 会長より閉会の挨拶により終了